夕刊
磐城時報

敵機來れ……と 待ちあぐむ防空群
防空訓練第四日目

防空訓練第三日は朝から雨であつたが、警防團員、自衞團員、家庭防空群何れも雨も何のその意氣物凄く待機してゐたが、終日敵機來らず、第四日目の四日は朝來秋空高くはれて今日こそはと異常の張り切りを見せてゐたが午前八時五分空襲警報が發令されたが午前十時十五分敵機の十一機編隊が北方から飛來平市上空を通過したが爆彈その他の投下なく、午後の來襲を待つてゐた

平職紹 勞務調査

平職業紹介所では十五年度勞務動員計畫の圓滑な遂行を期するため國家の重要產業たる軍需生產力擴充、輸出その他各種產業に供出可能なる者を調査、これを登錄して勞務需給の適正に益々拍車をかけることになつた

即ちこれが調査に當つては市町村勞務動員協議會が主体となつて就職希望者及び供給可能見込者を選定の上登錄するもので、年齡は十二歳以上四十五歳未滿の男子及び年齡十二歳以上三十歳未滿の女子で調査の範圍は新規中小學校卒業者、消費節約奢侈品製造販賣禁止等による離職者、都市農村における未就職者、その他業務の轉出者等で詳細を調査簿に記入の上今月下旬までに職紹へ提出することになつてゐる

記念式典當時 一般上京は見合はせ
鐵道當局で希望

鐵道省では既報の如く紀元二千六百年奉祝の式典參列者に乘車指定の列車を運轉無賃乘車證を交付する事になつたが、鐵道では本省の趣旨に從ひ來る十一月八日頃から十二日頃の一般上京は交通機關その他相當輻輳する見込みにつき成る可く見合はせるやう要望してゐる

聖地參拜 二教員出發

聖地參拜者に選ばれた四倉校長篠原保治氏は宮崎神宮、平第一校樋口ミツヅ女史は橿原神宮に參拜することになり十一月四日出發、二十八日歸宅する

四日發行
編輯兼發行印刷人 岡田弘成
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ケ月金廿錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

平税務署で 家屋税調査

十七年度から國稅として徵收する家屋稅に關し平稅務所署は大河原課長以下直稅課員の外岩崎課長はじめ間稅課全員の應援を受け目下市郡下一圓の建物に就き夫々賃地調査中であるが、炭礦、工場等所屬の家屋にして一區劃に亘る十戸建十棟の如き場合でも之れを一戸と計算隨つて管內世帶數に關して大數觀念を得る資料とはならないし尚ほ合計三万戸の多數に上る大仕掛な事業として該計測の前哨調査たる右賃地調査丈けに來十一月一杯を要する豫定であると。因に右は分與稅として府縣に移讓することになつてゐる

女子青年團 一夜講習會
一圓と白米持寄

石城郡青年團女子部では十九日午前十時から二十日午後二時まで城山湯殿山に一夜講習會を開くが、講師は縣社會教育主事松田重吉、平保健所榮養士成田きみさんで出席者は一町村から二名宛、會費一圓と米一升宛持寄る筈である。

濱通り中等校で 聯合野外演習

磐中、平商をはじめ濱通り各中等學校の聯合野外演習は紀元二千六百年を記念し十一月八、九兩日双葉郡大野村野上原を中心に行はれることになつたが、第一日目は各校共それ〲演習をしながら双葉郡に乘り込み、第二日目午前三時頃から聯合演習にうつることになつてゐる

麥混食が增加 勿來校で辨當調査

勿來校では二日學童千五百八十一名に對し第三回目の辨當調査した處、麥混食九百八名（第一回二百二十七名）七分搗五百三十一名（第一回九百三十七名）豆混食二十三名（第一回三十五名）馬鈴薯混食四十一名（第一回四名）其他混食四十四名で白米食は病人其他特殊家三十四名（第一回百六十二名）に過ぎず、同校では更に兒童を通じ家庭節米をいよ〱強調する事になつた

豐間海岸沖で 曳船が轉覆
二名危うく溺死

茨城縣大謀網太丸組所有運搬船十二トンは二日午後一時半頃平松運藏（二〇）神田磯雄（十八）の兩名が乘り係船に曳かれ豐間沖で激浪のため曳綱が切れ轉覆、前記兩名危うく溺死せんとしたが、附近で漁業中の岩瀨松次郎（五三）と松原清（四三）の兩名に救助された

泉村で 畜牛糶市

“農耕の勞力不足は和牛で補足しやう”と磐城畜產畜牛組合は九月下旬設立されたが、その初糶市が九日同組合泉村糶市場で開かれることになつた、出場頭數は當歲及び二歲牛約百頭、値段は最高二百圓高、平年より平均二、三割高を豫想されてゐる 尚糶市に先だつて共進會も開く筈。

佛領印度の概説
（二）
菅 忠 房

彼等はもと交趾平野或はその近傍に居住して農業を營んで居り、政治的には廣東に起つた南越の支配下にあつたものであるが、西紀前二世末南越が漢に滅ぼされるや、漢の統治下に歸し、その爲その爲約一千年間全く獨立を失つて支那の易姓革命と共に代々その地方官吏の虐政に惱んで來たのである。しかし惱んではゐたが、その中には時々はいゝ官吏もあつて安南人の原始的生活に對して支那の文化を傳へ、文化的農耕を授けて大いに開發に盡したものもあつたのである。それが唐の末になつて中央の權力が地方に及ばなくなつた頃、彼等は獨立して王國をつくり、漸次南方に發展して來たのである。この結果印度文化が西方から海陸を經て印度文化が浸潤し、その度合は支那僻遠の地と接壤してゐるよりは印度文化の方が優勢を加へて來てゐた。

この獨立も十八世紀末に至り、元文岳といふもの〻叛亂を起したゝめに滅ぼされ、王室の一族に元福映といふものがあり、シャムに逃れ佛國宣教師ピニョーの勸めに依つて勢力の挽回のために佛本國の援兵を請ふた。

西紀一七八七年ピニョーは佛蘭に行つてルイ十六世に謁し、一旦政府同盟は成立したもの〻遠征軍の組織を委ねられた佛軍司令官が其の實行に反對したので實行は沙汰止となり、已むを得ずピニョーは私費をもつて義勇兵を募り、武器彈藥を購ひ積んで歸つて來た。此の間に元はシャムの援助を得て氣勢大いにあがつてゐたところへ佛人の援助を得たので遂に西山の賊を逐つて安南王を統一し、一八〇三年清から越南國王に冊封された。

これが嘉隆帝と呼ばれるものであるが、この國家は滿から冊封された事實に見るやうに支那式儒教國家で基督教とは甚だ相容れぬものがあつたが、事を此處まで運んで來たについては宣教師つまりキリスト教徒の援助が大いに與つたわけであるから、その布教を許さねばならぬ重大なる惱みがあつた。それでも嘉隆帝の時は佛宣教師達に好意を示さぬばかりか迫害を加へたので彼等は國を去り、國は同教禁壓令を布いた。明命帝に次いだ紹治、嗣德の兩帝は更に迫害の方針を續けたので宣教師は殺され、信徒は山に逃れて布教は全く困難な狀態となつてしまつた。偶々スペイン僧正ディアスの刑せられるに及び、我安政四年西紀一八五七年好戰家ナポレオンは此機逸すべからずとしてスペインと結んで問罪の師を起すに至つたのである。即ち翌安政五年ツーランを奪ひ、更にサイゴンを取り、遂に安南王を力屈して交趾支那東部三省を佛蘭西に割讓した。しかし勢に乘ずる彼等はこれだけでは滿足せず、慶應二年（一八六六年）には交趾支那西部三省の割取を迫つたが、容れるところとならなかつたゝめ、遂に武力に依つてこれを占領し、かくて印度支那の穀倉と呼ばれるメーコン河下流々域は佛蘭西の純然たる植民地と化し去つたのである。

教育部會で 勤續表彰

石城郡教育部會では十三日午前九時から小名濱校講堂で總會を開くが、その席上二十五ヶ年永年勤續者並に五ヶ年以上無欠勤者を表彰する

小名濱の 腸チプス
學童の健康診斷

小名濱町の腸チプスは其後更に猖獗を續け二日までに三十四名に達したので町當局では平署の應援をうけ小學兒童の健康診斷を行つたところ三十八度以上の高熱者が四名もあつたので更に玉川、鹿島、江名、豐間各町村の健康診斷を行ふ事になつた

關內藥局

四倉各校 聯合運動會

四倉小學校、男女青年團、水產商業青年校の聯合陸上大運動會は來る十日同町本町海岸に於て開催するが、雨天の際は順延する。

軍用保護馬 鍛練競技

市では來る十五日午前八時から市內八幡小路元磐中グランド跡で軍用保護馬の鍛練會を行ふ

活躍中 腦溢血

四倉町仲町第六區家庭防空群長中野拾與氏は四日午前八時六分の空襲警報で活躍中腦溢血で卒倒した

佐久間上等兵 名譽の戰死

內郷村出身中牧部隊上等兵佐久間滿助氏は九月二十八日北支〇〇の戰鬪で名譽の戰死を遂げた旨三日原隊から發表された、留守宅には兩親なく姉みつさん（二六）がある

第一校生 トラックで負傷

赤井村トラック業永山忠二方運轉手門馬勇（二八）は二日午後五時頃トラックを運轉平市杉平地內で前車輪が外れたため通行中の平第一校酒井二郎（十四）の背部に打撲傷を負はせた

トラックで 老婆即死

田人村字田人石工松島一郎の母ハマさん（七六）は三日午前十一時頃同村黑田地內縣道で同村自動車業緑川善義さん方運轉手秋光照（三〇）のトラックに跳ね飛され即死した

滿洲散步記（五）

守安新二郎

面白いと思ひたのは滿洲國のあらゆる都市でもさうであるがこゝでは人を待遇するのが非常にいゝ條件であると、內地から來た私には思はれた。子供にでも六七十圓から百圓位の給料を出すと云ふし、內地を食ひ外れてこゝへ來ても、腕によつては三百圓位の待遇を受けると云ふから、內地の待遇などから見ると雲を見上げるものゝやうにボウとした。無論こゝでは物價が高いからその待遇でとんとんだと云ふのである。

しかし物價が高いから待遇もそれに正比例して良くなつてゐるとあれば、これは內地の私には大きな羨望であつた。なんとなれば、現在の內地は、事變前の物價に對してすべてが五割から甚だしいものになると二十割位暴騰してゐる、それでも碌々手に入らないものがあつて自然取引は闇がかゝつて來る。

そんな風に物價が上つても待遇は良くならない。給料のストップ令などが出て給料階級をおびやかし、更に賃銀統制令が出て稼ぐに稼げぬ狀態である。

それらのことを想ふと、滿洲はたしかに棲みいい、暮しいいとしか私には思はれないのである。

私は渡滿の車中で、洋裝の美しい女性からこんなことを聞かされた。『上海もいいんですが新京もいいんです。私の友達が新京で酒場を經營してゐるんですが稼、ぎやうによつては月收千圓位になるさうです』

そんなことを新京でふと想ひ出した。それは余談として女性の渡滿が必要以上に要望されてゐることは新京の若い男性に對して、これに配する娘が非常に尠いと思つた。

大陸の花嫁と云ふ言葉はよく聞かされて來た。あらゆる機關が大陸へ花嫁を送ることに奔走してゐるが、事實どの程度の女性が乘込んで來たか數字的なものは判らないが、まだまだ新京には內地の青年に配する內地の嫁が尠い。

新京の內地青年は、眞劍な變愛のない世界へ來たものの樣であるが、これではいけない。青年達の理想を助ける優しい女性の必要は急であると思つた。

新京では、文筆の志望者が多いが、雜誌、新聞の編輯者として志望する人が非常に尠いさうである。

某新聞社長に聞くと、わざわざ新聞雜誌記者を求めるに就いては內地へ呼びかけると云ふのださうである。滿洲にはものを書き度い人は腐る程ゐるがいづれも東京に憧てゐるばかりで、地元の滿洲の文化運動に力を盡さうとする人が尠いと聞かされた。（完）

御料理
"むぎとろ"
さつき
平市紅小路　電四八八

御誂と既製品
洋服高島屋
電話三八六番

債券・公債
兩替・金融
多田井質店
平市大工町　電五九一

女店員
至急入用
年齡不問・詳細御來談下さい
平市二丁目
北海屋商店
電話三八八番

◇和文 歐文 タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇膽寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇番
振替仙臺五一〇番
【藤森事務用器商會】

タンス・鏡臺
御婚禮調度品を
取揃へました
是非
和久井屋へ
御越下さい
平市一丁目【電話四〇五番】

とんかつ
專門の店
御ひいきをお願致します
午前十一時より午後十一時まで
平市仲田町
かの家
（出前迅速）
電話四六五番

國策線上ノ改良品
鑄物の代用品生る
セメント製マンホール　金二五〇錢ゟ各種
同　風窓網　金五十五錢ゟ各種
平市南町二〇
發賣元　野內商會
電話一一番
燒土管　在庫豐富

コツク見習
女給さん
至急募集
平市四町目
十一屋食堂
電話三七三番（ミナサン）

內臟外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
醫學博士　松村亨
平市南町　松村醫院外科部

三百年の歷史を有する
家傳靈藥
相馬ハンサキ
消食散
（一名かげの藥）
代理店　丸龜商店
平市大町　電話一三三番

外科一般
內臟外科
整形外科
肛門病科
性病科
レントゲン科
平市南町（平郵便局本局通り）
上田外科醫院
院長　上田耕作
電話一二九番

肋膜・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチス…扁桃線・中耳炎・骨膜・腰痛・ぢ疾に…
漢方貼藥
濕布で名藥
生公華
藥價　二圓五十錢　四圓　八圓
平市五丁目角
專賣店　山野邊藥局

花柳病科
泌尿器科
皮膚科
專門
診療　午前八時より
時間　午後九時まで
（入院隨意）
平市田町【電話六九一】
江尻醫院
醫學博士　江尻伊三郎

附屬產院
新設
姙產婦入院隨時
產科
婦人科
木村病院
平市新川町
電話一六四番